

校外だより No. 1

令和3年7月吉日

横浜市立東山田小学校
PTA会長 高木 健樹
校外指導委員長 若嶋 典子

▶ どうしたら子どもを交通事故から守れる？

子どもは保護者の方の日常生活を見ながら、交通ルールを身に付けていきます。

子どもを交通事故から守るためには、子どもと一緒に身近な道路を歩いて、子どもの目線にたって、どの場所にどんな危険があるか、どうしたら安全かをひとつひとつその場で教えてあげてください。



子どもの特性のポイント

① ひとつのものに注意が向くと、周りの物が目に入らない

- ◆ 子どもが道路の反対側にいるときは、絶対に声をかけないようにしましょう。声をかけた人に急に走り寄ってくる場合があります。

② その時々気分によって、行動が変わる

- ◆ 出かける前に叱られたりすると行動が早急になったり衝動的になったりします。
- ◆ 室内で遊んでいたあとに外に出ると、急に走り回ったりします。

※ 始業時間までに時間的余裕をみて家庭を出発すること、登校直前に叱ったり、感情をいらだたせることのないように注意して、気持ちにもゆとりをもって登校できるようにしてください。

③ 「あぶない」とか「注意する」というあいまいな言葉は、理解できない

- ◆ 実際に何が危ないかを具体的に繰り返して教えることが大切です。

④ 状況に応じた応用動作が難しい

- ◆ 手をあげることで車が止まってくれるものと思ってしまう。
- ◆ 信号が青に変わればすぐに渡りはじめてしまう。



⑤ 大人がそばにいると頼る、大人をまねる

- ◆ 保護者の方がしっかりと交通ルールを守り、子どものお手本となってください。

⑥ 車や物陰で遊ぶ

- ◆ 車の陰にかくれたり、物陰で遊んだりすることは急な飛び出しにつながります。物陰で遊んでいる子どもがいたら、違う場所で遊ぶように注意してください。

⑦ 子どもの視野は大人より狭い

- ◆ 大人の目では左右確認できるところでも、子どもの視野や高さでは十分に見えていないこともあります。

(横浜市作成「通学路安全点検ハンドブック」より)



じてんしゃじてんしゃ くるまくるま い
自転車も、のれば車のなかま入り。



うんてんうんてんするときうんてんは、ルールとマナーをまもろう!



車くるまどうどうをはしはしるときときは、
自転車じてんしゃも車くるまとおなじおなじだよ。
みちみちの左ひだりがわがわをはしはしるよ。



「とまれ」では、自転車じてんしゃも
とまらないといけいないよ。



ほどうほどうはああるいいていてる人ひとの
みちみちだよ。ああるいいていてる人ひとに
やさやさしいうんてんうんてんをしよう。



しんごうしんごうをまもろう!
しんごうしんごうがちかちかちかちかしたら、わたわたらないよ。

しってた? のうみそのうみそのかたさかたさは
“とうふ”とおなじ!



**ヘルメットを
かぶろう!**



とつてもとつてもやわらかやわらかいんだよ。
大おほいきな頭あたまは、ヘルメットヘルメットがま
もつてくれるよ!

(横浜市作成「自転車交通安全啓発リーフレット小学生向け」より)



夏休みラジオ体操中止のお知らせ

毎年子どもたちが楽しみにしている夏休みラジオ体操ですが、昨今の状況を考慮いたしまして今年度も中止することといたしました。

ラジオ体操の景品は日頃よりご協力いただいている資源集団回収(古紙回収)奨励金を活用しております。今年度は奨励金還元として子どもたちへ「消しゴム」を配布いたします。

今年はずいぶんご家庭でラジオ体操に取り組んでみてはいかがでしょうか。



- ・テレビ Eテレ 毎日 午前6時25分
- ・NHKラジオ第1 毎日 午前6時30分

